

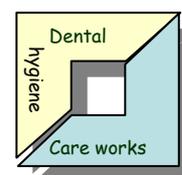
## 福岡医療短期大学における特色ある大学教育支援事業報告

### 【口の健康から QOL の向上へ】

高齢者にとって「食べること」は大きな生きがいのひとつです。これは要介護者にとっても同じで、食べる機能を維持し、回復していくことは生活の質（QOL）を高く保つためには欠かせません。

口の健康を保ち、食べる機能を維持、回復していくためには、歯科医師、歯科衛生士だけでなく、介護に関わる様々な関係者の連携と協力が必要となりますが、現状では十分な対応がなされているとはいえません。

このため、本学では歯科衛生士ならびに介護福祉士を養成する学科を併設している特性を活かして、「要介護者の口腔ケア（口腔介護）」を実践できる歯科衛生士、介護福祉士の育成を目的に、平成12年度より両学科の相互乗り入れ授業を始めました。本学はこの取り組みを通じて、要介護者の方が、関係者の連携のもとに、食べる機能に関する効果的な予防・ケア・リハビリが受けられる福祉社会づくりを目指しています。



### 1. 両学科の口腔介護臨地実習の充実

臨地実習において、施設入所者の方への口腔ケアに使用する歯ブラシ等の口腔ケア消耗品を不足なく供給したことにより、学生の口腔介護の実践に対する意欲やモチベーションが向上しました。また、口腔介護臨地実習の指導補助者として、口腔介護経験のある歯科衛生士2名（1名は非常勤）を雇用したことにより、施設入所者への口腔ケアの実地指導がより実践的となりました。

#### 成果1) 歯科衛生学科臨地実習終了時における学生からの評価

歯科衛生学科では、キャンパス内にある介護老人保健施設“サンシャインシティ”並びに介護老人福祉施設“サンシャインプラザ”において、入所者に対する口腔介護実習を実施しています。平成19年度前期の臨地実習終了後の学生98名を対象に、実習に対する学生による評価を、アンケート法により調査しました。有効回答数は96でした。



義歯の清掃支援



食事介助の一コマ

その結果、「実習は有意義であった」と答えた学生が88.5%を占め、「実習にとっても満足」あるいは「満足」と答えた学生が95.8%を占めていました。

これらの結果は、口腔介護臨地実習における口腔ケア消耗品を不足なく供給したこと、

および実習指導の充実による教育効果の表れと思います。この調査の詳細につきましては、07年度歯科衛生士専任教員秋期学術研修会報告集（47～52ページ）に掲載されていますので、ご参照ください。

#### 成果2）介護老人福祉施設“サンシャインプラザ”における口腔介護実習の評価

口腔介護実習施設のひとつである介護老人福祉施設サンシャインプラザの入所者を対象に、口腔介護実習前・後における口腔清掃状態を調査しました。

口腔清掃状態の指標には、カンジダ菌を検出する検査キット「ストマスタット」を使用しました。入所者91名を、歯科衛生学科の学生が口腔介護で介入した群（対象者60名）と、施設常勤の歯科衛生士1名及び週に2日勤務の非常勤歯科衛生士の2名が介入した群（対象31名）に分け、口腔介護介入前の平成19年3月および介入後の6月にストマスタット検査を実施しました。

その結果、介入前・後のストマスタットの改善率は、学生介入群では40%、施設勤務の歯科衛生士介入群では42%の改善率であり、ほとんど差がみられませんでした。これより、歯科衛生学科実習生による口腔介護の効果は、歯科衛生士が実施する口腔介護とほぼ同等であると考えられました。この調査の詳細につきましては、第4回日本口腔ケア学会（11月17日・18日、名古屋）で報告いたしました。



レクリエーション  
（健口体操）



全介助者の口腔ケア

#### 成果3）保健福祉学科・歯科衛生学科の学生が合同参加する口腔ケア教育

保健福祉学科と歯科衛生学科の学生が共同して、施設入所者に対する口腔ケアを実施する実習を企画しました。

その事後評価をみると、保健福祉学科学生は「新しい手技や知識を習得した」が77.8%、歯科衛生学科の学生では「教える立場になり、口腔ケアの再確認ができた」が44.4%でした。両学科の学生にとって、「口腔ケアのモチベーション」に有効に作用することがわかりました。この詳細につきましては、介護福祉教育第13巻2号（通巻25巻）122～130ページに掲載されていますので、ご参照ください。

## 2. 口腔介護データを共有するデータベースシステムの作成

18年度に作成した口腔介護データベースをもとに、口腔介護実習帳の項目に従ってデータを入力できるように改良しました。また、入力の能率化を図るため、一端CSVで保存したデータを一括読み込みできるように改変しました。これによって、介護老人保健施設で蓄積されたデータを読み込み、20年度の口腔ケアプラン作成実習の参考になるように準備しました。現在（平成20年5月以降）では、パソコンに搭載したデータベースに、学生が入力作業を行っています。

### 3. 口腔介護（口腔ケア）教育の現状調査

介護福祉士養成校及び歯科衛生士養成校での口腔介護（口腔ケア）教育の現状を知るための基礎資料として、歯科衛生士養成課程を持つ短期大学の教育内容をアンケートにより調査しました。また、福岡県内の介護福祉士養成校での口腔介護（口腔ケア）教育の現状調査を実施し、現在集計中です。

成果) 歯科衛生士教育における要支援・要介護高齢者への口腔ケア教育の現状

今回の対象は全国大学歯科衛生士教育協議会に加盟する14校で、19年度に実施した「口腔ケア教育」について調べました。

その結果、要介護高齢者の身体的・心理的特徴、口腔の加齢変化と口腔疾患、摂食・嚥下の訓練、日常生活の介護技術は86%で実施されているが、授業時間数をみると差が大きい。口腔ケアの知識と技術では“義歯の清掃と管理”、“介助磨き法”、“唾液腺マッサージ”、“口唇・舌・頬の機能訓練”、“嚥下訓練”は100%実施されていた。臨地実習は13校で実施され、最小4時間～最大192時間、平均52時間であった。口腔ケアの内容は、“義歯の清掃と管理”、“介助磨き”がそれぞれ92%、“スポンジブラシの使用”が85%と上位を占めた。今回は短大の養成校を対象に調査したが、今後は大学ならびに専門学校を対象に調査を行い、口腔ケア教育の現状を把握すると共に、口腔ケア教育のカリキュラムモデルを検討することも必要と考えられました。

この成果は、第27回日本歯科医学教育学会学術大会（平成20年7月12日、東京）および第10回福岡口腔ケア研究会（平成20年8月3日、福岡）にて発表いたしました。

### 4. 口腔介護研修会「口腔ケア実践教室」の開催

地域の介護施設や病院に勤務する介護職員、歯科衛生士、看護師等を対象とする研修会で、平成18年度から平成19年度にかけて4回開催しました。受講者はのべ136名を数え、その職種は介護福祉士、ヘルパー、歯科衛生士、看護師など多職種にわたっています。また、職種を問わず口腔ケアに関心が高いことを再度、確認いたしました。

平成20年度は2回の開催を予定しています。

#### 第1回 口腔ケア実践教室 「口腔ケアから始める介護予防」

日時：平成19年3月18日 10:30～15:00 受講者41名

場所：福岡医療短期大学

講演：「介護予防のための機能的口腔ケア」

福岡リハビリテーション病院 障害者歯科部長 平塚 正雄

実技講習：「やってみよう口腔ケア—効果的なグッズの使い方—」

福岡医療短期大学 准教授 堀部 晴美 ほか

#### 第2回口腔ケア実践教室 「機能に関わる口腔ケア」

日時：平成19年8月19日 10:00～15:30 受講者35名

場所：福岡医療短期大学

講演1 「嚥下障害がある方へのアプローチ —VF 検査—」

恵光会原病院 歯科口腔外科部長 原 巖

講演2 「介護施設における口腔ケアの重要性」

介護老人保健施設 サンシャインシティ施設長 松葉 健一

実技講習 「食べる機能を理解する・互いに学ぶ口腔ケア」

福岡医療短期大学 准教授 堀部 晴美 ほか

### 第3回口腔ケア実践教室 「すぐに役立つ口腔ケア」

日時：平成19年11月25日 10:00～16:00 受講者29名

場所：福岡医療短期大学

講演1 「よくわかる入れ歯の話」 福岡医療短期大学教授 緒方稔泰

講演2 「施設で働く歯科衛生士 ―効果的な口腔ケアの取組―」  
介護老人保健施設 サンシャインシティ施設長 泉 繭依

実技講習 互いに学ぶ口腔ケア 「ご存知ですか？入れ歯のケア」  
福岡医療短期大学 准教授 堀部 晴美 ほか

### 第4回口腔ケア実践教室 「明日から役立つ食支援」

日時：平成20年3月23日 10:00～16:00 受講者31名

場所：福岡医療短期大学

講演1. 「介護予防のための機能的口腔ケア」

福岡リハビリテーション病院 障害者歯科部長 平塚 正雄

講演2. 「食べることを理解する・食形態を考える」

福岡医療短期大学 准教授 堀部 晴美 ほか

実技講習 「効果的な口腔ケアを体験しよう/機能的口腔ケアを理解する」  
福岡医療短期大学 准教授 堀部 晴美 ほか

### 第5回口腔ケア実践教室 「介護予防から自立支援への口腔ケア」

日時：平成20年8月3日（日曜） 10:40～15:00 受講者120名

場所：福岡医療短期大学

講演 「口腔機能向上を目指した口腔ケアのポイント」

九州歯科大学 生体機能制御学 摂食機能リハビリテーション学 教授 柿木 保明

実技講習

A. 口腔ケアに役立つ移動と移乗の介護技術 受講者36名

福岡医療短期大学 保健福祉学科 講師 末松 美保子、ほか

B. 口腔ケアの基本を学ぶ 受講者31名

福岡医療短期大学 歯科衛生学科 准教授 堀部 晴美、ほか